

# 運営状況報告(平成31年4月～令和2年8月)



令和2年10月14日

校長 松永和彦

# はじめに

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症のため、推進協議会の事業では総会を書面開催としたほか、一部行事の中止等が余儀なくされております。そうした状況におきましても、推進協議会の趣旨にご賛同のうえ、ご協力をいただいている会員企業の皆様に改めまして感謝申し上げます。

本稿では、当短期大学校の現状やトピックスについて報告させていただきます。

## ■ 実践技術者の育成

### 厚生労働省所管の県立の短期大学校として平成7年設立

- ・ 産業技術分野における高い技能と技術及び学識を持つ創造性豊かな実践技術者を育成し、もって地域社会及び経済の発展に寄与することを目的とする（学則第1条）
- ・ 在職者訓練（スキルアップセミナー）

## ■ 県の職業能力開発推進中核拠点

### 人材育成支援センター（人材育成支援課）

- ・ 公民連携プロジェクトの推進（職業訓練カリキュラムの研究開発）
- ・ 中小企業の人材育成支援（在職者訓練のコーディネート）
- ・ 職業訓練に関する情報提供
- ・ 職業訓練の支援、説明会、指導員研修、推進協議会事務局

令和2年4月1日現在

職員数: 67名  
学生数: 326名  
(1年生183、2年生143)

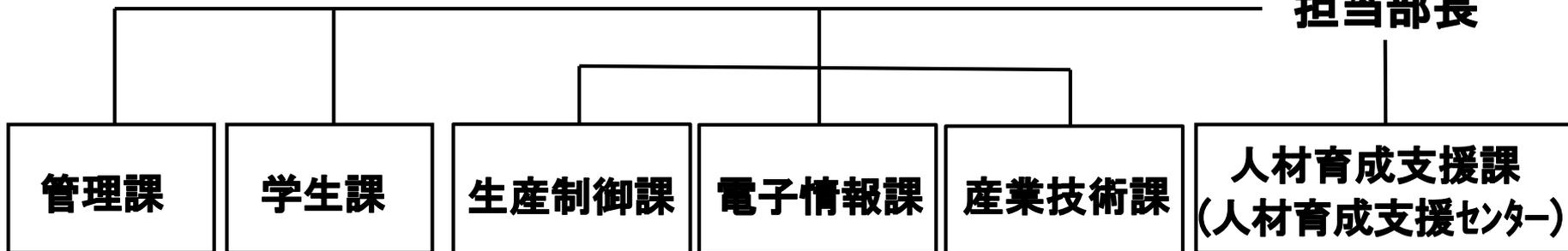
**実践技術者の育成**

校長

副校長

**県の職業能力開発推進中核拠点**

担当部長



管理課

学生課

生産制御課

電子情報課

産業技術課

人材育成支援課  
(人材育成支援センター)

生産技術科

制御技術科

電子技術科

情報技術科

産業デザイン科

指導員数

7

7

7

6

7

- 取組1) 留学生受入れ
- 取組2) 西キャンパス建て替え準備
- 取組3) KCITあり方
- 取組4) 地域貢献
- 取組5) 講師研究

## 対象：

高校卒業以上の学力と日本語能力（日本語能力試験：N2以上）を持つ日本語教育機関の卒業生で、専門課程で技術を習得し県内企業で、ものづくりの仕事に就きたいとの希望を持つ方

## 令和2年度生：

生産技術科3名、制御技術科2名  
電子技術科3名、情報技術科2名  
全体で10名受入れ

# 取組2) 西キャンパス建て替え準備

**西キャンパス**

16,035m<sup>2</sup>



本館棟 : H2年 3月31日建設  
実験実習棟 : S63年 3月31日建設  
体育館 : S63年 3月31日建設

**東キャンパス**

20,751m<sup>2</sup>

参考: 横浜スタジアム  
26,200m<sup>2</sup>

R2年4月より茅ヶ崎の代替施設へ移転  
(西キャンパス建て替え工事終了まで)  
R4年10月新キャンパス完成予定



## 入校生確保の活動として、「KCITあり方」3つの取組

- 1) 「ホスピタリティー向上」
- 2) 「魅力づくり（校のウリ）」
- 3) 「時代ニーズに合ったコースの設定」

## この具体的な活動として以下4つの活動が開始された

- ①定員確保対策Gを発足
  - ・技術系女子活躍推進プロジェクト
  - ・産業技術短期大学校通信制作プロジェクト
- ②学生作業着検討（憧れるユニフォーム）
- ③ソーシャルメディアによる情報発信
- ④同窓会設立検討

## ・近隣の小学生に「ものづくり」への興味を持っていただく 地域貢献事業

- ①小学4～6年生「ものづくり体験」“LED照明付きスマートフォンスタンド”の制作とHP作成 → R1年度:28名参加(8月24日)
- ②小学3年生「たんだい探検ツアー」機械、電気・電子、デザイン、情報の4分野を2日間で見学、体験 → R1年度:中尾小学校3年生64名参加(9月24日,10月1日)



R2年度中止



## ・ジョイナステラスで短大校の魅力発信 (R1年7月15日)

## 令和元年度研究報告

目的：人材育成に係る各種の研究、調査や自らの知識・技術・技能の向上に関する活動を行う

### 生産技術科

「機械制御実習教材のリニューアル」

### 電子技術科

「技能照査学科問題の検討と見直し」

「micro:bitを用いたコンピュータ制御実習教材の作成 [2]」

「電子技術科の競技大会参加に向けた取り組み」

### 産業デザイン科

「ページレイアウトソフトを用いたDTP学習支援教材の作成(多段組自由レイアウト編)」

「造形表現に必要な基本工具の使い方」

「印刷技術やアプリケーションの変化・進歩に対応した指導方法について」

### 情報技術科

「情報技術科C++言語プログラミングに関する教材の見直し」

「自己学習可能なWebアプリケーションプログラミング教材(Java)の作成」

「情報技術科1年次Java言語プログラミングに関する教材の見直し」

## 令和元年度中間報告

### 生産技術科

「NCフライスの原理習得を目的とした教材作成 [1]」

### 制御技術科

「企業ニーズ調査等に伴う制御技術科授業カリキュラム変更  
の卒業生・企業調査 [1]」

### 産業デザイン科

「3Dプリンタを活用したカリキュラムの作成 [1]」  
「空間把握力を向上させるための指導技法の研究 [1]」

### 情報技術科

「IPv6アドレスを使用した実習環境の構築及び教材の作成  
について [1]」

## 在籍学生数

令和2年4月1日現在

学科	学年	在籍者	
		男子	女子
生産技術科	1年	36	2
	2年	22	1
制御技術科	1年	23	2
	2年	23	2
電子技術科	1年	36	2
	2年	24	0
産業デザイン科	1年	11	28
	2年	11	25
情報技術科	1年	36	7
	2年	30	5
合計		252	74

### 退学者数の推移

H27年度			H28年度			H29年度			H30年度			R1年度		
1年	2年	計	1年	2年	計									
28	5	33	25	1	26	39	7	46	31	7	38	26	4	30

## 技能照査

- ・職業能力開発促進法第21条(技能士補)
- ・企業に本校の最低限能力を担保する

卒業要件として受検必須  
100%合格を目指す

- |      |  |
|------|--|
| 学科試験 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・技能の裏づけとなる関連知識の習得度</li> <li>・基礎知識(生産活動に関連したこと)</li> </ul> |
| 実技試験 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・製品を製作して審査</li> <li>・技能習得の程度を評価</li> </ul>                |

	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
生産技術科	100%	100%	82.4%	93.1%	100%	100%
制御技術科	96.6%	86.6%	87.1%	71.0%	93.5%	100%
電子技術科	96.9%	85.1%	95.8%	74.0%	92.3%	85.7%
産業デザイン科	100%	100%	100%	100%	100%	100%
情報技術科	96.7%	67.8%	86.1%	71.4%	76.7%	60.0%
平均	98.1%	88.6%	89.9%	82.6%	92.8%	88.8%

## ■就職状況

### 学科別就職状況

(就職率は就職希望者に対する就職者の比率)

	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
生産技術科	100%	100%	100%	100%	100%	100%
制御技術科	100%	96.6%	100%	87.5%	100%	95.2%
電子技術科	100%	100%	100%	95.8%	100%	94.3%
産業デザイン科	100%	96.8%	91.2%	100%	100%	100%
情報技術科	89.3%	100%	100%	100%	100%	87.5%
平均	98.0%	98.6%	98.1%	96.9%	100%	95.4%

## ■令和2年度卒業生対象求人数と内定実績 (9月10日現在)

求人企業数 : 343社 (昨年8/末 408社) うち、推進協170社

求人数 : 1,186人 ( " 1,353人) うち、推進協464人

内定率 : 63.6% ( " 67.9%)

内訳 (生産100%、制御81.0%、電子72.7%、産デ17.1%、情報52.9%)

例年推進協会員企業への就職率は60%台だが、R2年度は現時点で89.2%と高い。

## 卒業制作研究

- ・制作研究の基本的なプロセスを身につける

### 令和元年度 各科優秀賞表彰

#### 生産技術科

「2ストロークエンジンの教材用模型の製作」

#### 制御技術科

「色判別ワーク1個送り装置の製作」

#### 電子技術科

「電動立ち乗り二輪車の製作」

#### 産業デザイン科

「コンサートのステージセットと演出の計画」

#### 情報技術科

「Excelを用いた企業プロフィール分析ソフトウェアの作成」

## 競技大会への参加

### ■ 若年者ものづくり競技大会(20歳以下)

R2年度中止

旋盤、機械製図(CAD)、電子回路組立て、グラフィックデザイン

H28年度 ・ 電子回路組立て職種 (敢闘賞)

H29年度 ・ グラフィックデザイン職種 (2位)

・ 電子回路組立て職種 (敢闘賞)

### ■ 技能五輪全国大会

H28年度 ・ 電子機器組立て職種 (1名参加)

R2年度 ・ 電子機器組立て職種 (1名参加)

### ■ Hondaエコマイレッジチャレンジ出場

R2年度中止

H29年度 2チーム出場 (16位 : 730km/ℓ、37位 : 253km/ℓ)

H30年度 2チーム出場 (10位 : 591km/ℓ、リタイア)

R1年度 2チーム出場 (16位 : 750km/ℓ、19位 : 729km/ℓ)

## 地域・企業とのコラボレーション

### デザイン産学連携プログラム

横浜市(工業技術支援センター)のコーディネートで企業への提案を実施

- H28年度 自転車チェーンカバーのデザイン、緊急用シャワーブースデザイン、他
- H29年度 フォトエッチングメーカーとのコラボ
- H30年度 デジタルサイネージ装飾のデザイン提案
- R1年度 段ボールを使ったオリジナル製品開発
- R2年度 プリント基板の廃材を利用した雑貨のデザイン提案

### 推進協議会会員企業との連携

グッドヒューマンネットワーク講座 R2年度中止

R1年度 第32回「目標の達成、夢の実現～行動する勇気と継続する情熱～」

講師：石田太志 氏 (R1年7月3日)

第33回「留学生と学び、外国人と生きる」

講師：平田大登 氏 (R1年12月11日)

### テクニカルショウヨコハマ2020出展

R2年2月5日～7日 会場：パシフィコ横浜

## おわりに

長期化するコロナ禍において、短大校も「新しい生活様式」に対応した工夫を施しながら訓練を推進しております。

会員企業の皆様におかれましても、様々なご苦勞がある局面かと思われませんが、引き続き、当短大校へご支援・ご協力をよろしくお願い申し上げます。

校長 松永 和彦